

関西ものづくり新撰2023 募集説明会

令和4年8月26日

関西ものづくり新撰2023の概要について

◆ 関西ものづくり新撰とは

関西ものづくり新撰は、関西の中小企業が開発した「優れた」「売れる」製品・技術や「新しい」「儲かる」ビジネスモデルを選定し、表彰、PR等の支援を行う近畿経済産業局独自の取組であり、第1回の平成24年度以降、これまでに計214件選定、表彰しています。



関西ものづくり新撰
冊子(イメージ)



選定証交付式
(イメージ)

◆ 選定までの流れ

募集

令和4年8月8日～9月30日



審査

- ・書面審査 + 必要に応じて追加調査
- ・選定委員会



発表

令和5年1月下旬頃



選定証交付式

令和5年2月中 (大阪市内)

関西ものづくり新撰2023の募集について

◆募集期間

令和4年8月8日（月）～9月30日（金）

◆応募方法

- 以下のWeb申込フォームに会社情報、応募する製品・技術等の情報等をご入力ください。

<https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/kansai01/form230>

- 当局ホームページから応募書類一式をダウンロードしていただき、必要事項を記入の上、添付書類とともに電子媒体を当局が指定する大容量ファイル交換サービスへのアップロードにてご提出ください。

※アップロード用のURL等については、登録専用ページへの申込完了後に、当局から別途お送りするメールにてお伝え致します。

<https://www.kansai.meti.go.jp/3-5sangyo/shinseihin/2023/boshu.html>



関西ものづくり新撰2023の応募要件について①

以下の9項目をすべて満たす製品・技術等を対象とします。

項目	内容
1) 関西のものづくり中小企業	製品・技術等を開発した企業が以下2つの条件を満たすこと。 ①中小企業基本法第2条第1項に規定する中小企業者であること。 ②本社又は主たる事業所の所在地が当局管内であること。
2) 新たな製品・技術等	5年以内（2017年8月1日～2022年7月31日）に販売・提供を開始した新たな製品・技術等であること。
3) 市場開拓の見込み	既に販売・提供の実績があり、今後の市場開拓が見込めること。 ※2022年7月31日までに販売・提供行為を行い売上計上している製品・技術等を対象とします。
4) 製品・技術等の分野	次頁の7分野のいずれかに該当する製品・技術等であること。（最大2分野まで組合せ可）
5) 販路開拓・拡大の意欲	当該製品・技術等の販路開拓・拡大に意欲のあること。
6) ものづくり日本大賞との関連	過去にもものづくり日本大賞の各賞を受賞した製品・技術等ではないこと。
7) 過去の関西ものづくり新撰との関連	「関西ものづくり新撰」（2013～2021）に選定された製品・技術等と同一ではないこと。
8) 特許等の侵害	他の特許等を侵害していないこと、または係争中ではないこと。
9) 法令違反等	①「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）」第2条に規定する暴力団等の反社会的勢力、もしくはその構成員と関係がある中小企業等ではないこと。 ②応募しようとする製品・技術等について、独占禁止法等各種法令に違反していないこと。

関西ものづくり新撰2023の応募要件について②

◆選定製品・技術等の分野（最大2分野まで組合せ可）

①環境・エネルギー (カーボンニュートラル)

環境負荷の低減や省エネルギー、再生可能エネルギーの普及・開発、カーボンニュートラルの実現などに効果がある製品・技術

②医療・健康・介護

医療の向上や健康の増進、介護の負担軽減などに効果がある製品・技術

③先端産業

ロボット、情報家電、航空宇宙機器、自動走行、小型無人機、バイオテクノロジーなど、先端産業の発展に効果がある製品・技術

④防災・セキュリティ

災害の防止・軽減等の効果があり、安心・安全を支える製品・技術

⑤新市場創出

地場産業や地域ブランド、年齢やジェンダー、国籍、障がいの有無などの多様性に寄り添った環境づくり等、ニッチな分野等において新市場を創出する製品・技術

⑥IT/IoTソリューション

デジタルトランスフォーメーション推進に資するソフトウェア、IT等のデジタル技術とデバイス等を活用したものづくりとサービスが融合したソリューション等を創出・提供する製品・技術、また、それらを用いたビジネスモデル

⑦社会課題関連 (サステナブルな食システム)

SDGsの掲げる持続可能な食料生産システムの確保や、生産・サプライチェーンにおける食品ロスの減少などに役立つ製品・技術、また、それらを用いたビジネスモデル

(参考) これまでの選定事例紹介①



最優秀賞

先端産業

IT/IoTソリューション

表面が多色プログラム発光する近未来的織物

製品・技術等の名称 特殊側面発光糸を用いた自動車内装材織物「発光ジャカード織物 (LightWeave®)」

【概要】

本製品は、織物の表面の全面が柄出し発光する「発光ジャカード織物」です。これは、特殊な側面発光型の光ファイバーをジャカード織り（合成繊維を用いた柄出し織り）と絡み（カラミ）織りを融合させた世界初の独自技術で織り込んだもので、優れたデザイン性と機能性を兼ね備えています。具体的には、従来の自動車内装材で要求される機能（優れた風合いや織柄デザイン、生地への耐久性）に加え、織物表面をプログラム発光させることでドライバーやその同乗者に感性的な癒やし効果を与えたり、視認性が高いHMI（ヒューマンマシンインターフェース）などの機能を与えるなど、近未来的な新しい価値が提案できる機能性織物として期待されています。



発光ジャカード織物発光時

【参考価格】 お客様の要望に応じて対応させていただくため要相談

企業からのメッセージ

「発光ジャカード織物」は、織物独自の風合いに、光による意匠性と機能性を兼ね備えた新しい製品として、次世代自動車への搭載、壁紙や照明のようなインテリアでの使用等、様々な用途での展開を目指しています。

【企業PROFILE】



大喜株式会社

代表取締役社長：山本 岳由

福井県坂井市丸岡町磯間 16-18
Tel : 0776-66-3200 / Fax : 0776-66-3202
<http://daikiweb.com/>

狭い工場内でも確実に洗浄可能な遠心分離機

医療・健康・介護



製品・技術等の名称 上部分割開閉型遠心分離機：MARK3γ（マークスリーガンマ）

【概要】

本遠心分離機は医薬品製造のための重要な機器です。従来の遠心分離機は約1tの重さの主要部品を蓋部分で支えており、蓋全体を大きく開くことにより機内洗浄が可能です。しかしそれには天井の高い広い工場が必要でした。そこで新たなアイデアで蓋を分割し、複雑な形状の部品を精密に加工する技術により、狭い工場内でも洗浄しやすいという優位性を持つ製品を開発しました。ジェネリック医薬品製造の中小企業など大きな工場を持たないお客様が、工場を改築する必要なく洗浄性の高い機械で生産することができ、それにより製品切り替え時に洗浄に要する時間が短くなり、コストを下げる事が可能となっています。



【参考価格】 30,000,000円（税抜）（1製品・技術当たり）

企業からのメッセージ

低コストで異物混入のない高品質な医薬品が製造できることによって結果的に医薬品自体の価格も抑えられ、少子高齢化による医療費問題の解決にも資すると考えています。今後さらに本技術の普及を推進してまいります。

【企業PROFILE】



株式会社松本機械製作所

代表取締役：松本 知華

大阪府堺市堺区三宝町 6-326
Tel : 072-221-6622 / Fax : 072-222-1921
<http://www.mark3.co.jp/>

(参考) これまでの選定事例紹介②

防災・セキュリティ

プレス時に発生する端面のバリを抑制



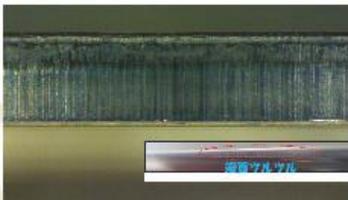
ツルツル端面処理加工技術を使用した部品例

製品・技術等の
名称

ツルツル端面処理プレス加工技術

【概要】

一般的に、プレス加工時に発生する端面バリにて手が切れたり、製品内のハーネスを損傷したりといった製品事故を防止する施策として、プレス後の二次加工（パレールや電解研磨）を施しますが、高額で且つ変形や安定性に欠ける等、品質リスクが伴います。そこで当社ではプレス加工のみで、なめらかな端面に仕上げる技術を確立しており、安価且つ安定的に供給し、さらに「ツルツル端面処理プレス加工技術」を向上する為の研究開発も行なっています。2016年以降、大学と共同実験を行い、端面処理技術を改善進化させて参りました。



「ツルツル端面処理加工技術」のせん断端面 マイクロスコープ撮影

【参考価格】 200円（税抜）（1製品・技術当たり）

企業からの
メッセージ

「ふやけた手でも切れないレベルのプレス部品」を念頭にモノづくりを行っています。『自動車業界』『医療機器業界』『住宅設備業界』にも同様のニーズがあり、参入すべく営業活動を行っています。

【企業PROFILE】



株式会社榎本金属製作所

代表取締役社長：榎本 仁

大阪府岸和田市新港町 10-3
Tel: 072-439-0555 / Fax: 072-439-0554
http://www.enomoto-k.com/

新市場創出

既成概念から脱却したゴム製品の無限の可能性への探求



製品・技術等の
名称

KINJO JAPAN E1

【概要】

本製品は、透明で一見ガラスしか見えないコップ（グラス）ですが、素材には柔軟性の高いシリコンゴムが使われた商品です。ゴム独特の割れにくく、滑りにくいという特徴は、幼児や高齢者に最適で、またアウトドアなど屋外でも気を遣うことなく使用することができます。材料には高透明液状シリコンゴムが採用されていますが、商品の透明度を担保するためには、特に高い成形のノウハウと、高い技術力に裏打ちされた金型も重要となります。企画・開発から販売までをクリエイターと協働した商品で、高級感を演出すべく、デザインは切り模様を施しているほか、ブランドロゴ入りの包み紙で包んだうえ、ロゴの箇所は入り口の粘着でパッケージしています。価格の設定や販売戦略もクリエイターとともに検討し、実施しています。



【参考価格】 4,500円（税抜）（1製品・技術当たり）

企業からの
メッセージ

皆さんのご家庭の中に、安心・安全・驚き・楽しさを「ゴム製品」で直接お届けする事を目標とし、商品ラインナップを増やしていきたいと考えています。

【企業PROFILE】



錦城護謨株式会社

代表取締役社長：太田 泰造

大阪府八尾市跡部北の町 1-4-25
Tel: 072-992-2321 / Fax: 072-993-7706
http://www.kinjogomu.jp/

関西ものづくり新撰2023における選定分野の追加について

今回はSDGs（持続可能な開発目標）に着目し、2025年大阪・関西万博に向けた取組を加速すべく以下の2項目を追加。

◆サステナブルな食システム

社会課題関連では、「食」関連の製品・技術等を取り上げました。現行の食料システムに起因する健康負荷（肥満、栄養失調）環境負荷（気候変動、自然負荷）経済負荷（フードロス）といった課題に対して、解決に役立つ「食」を取り巻く製品や技術等に注目しています。



◆カーボンニュートラル

経済産業省は、グリーン成長戦略の推進を筆頭にカーボンニュートラルの実現に向けた取組みを進めています。当局としても、脱炭素社会実現に寄与する市場拡大を目指す関西のものづくり企業を支援していくため、カーボンニュートラルを「環境」分野の一要素として追加しました。

2050年に向けて成長が期待される、14の重点分野を選定。
 ・高い目標を掲げ、技術のフェーズに応じて、実行計画を着実に実施し、国際競争力を強化。・2050年の経済効果は約290兆円、雇用効果は約1,800万人と試算。

洋上風力・太陽光・地熱 ・2040年、3,000～4,500万kWの案件形成(海上風) ・2030年、次世代型で14円/kWhを視野(太陽光)	水素・燃料アンモニア ・2050年、2,000万吨程度の導入(水素) ・東南アジアの5,000億円市場(燃料アンモニア)	次世代熱エネルギー ・2050年、既存インフラに合成メタンを90%注入	原子力 ・2030年、高温ガス炉のカーボンフリー水素製造技術を確立	自動車・蓄電池 ・2035年、乗用車の新車販売で電動車100%	半導体・情報通信 ・2040年、半導体・情報通信産業のカーボンニュートラル化	船舶 ・2028年よりも前倒してゼロエミッション船舶の商業運航実現
物流・人流・土木インフラ ・2050年、カーボンニュートラルポートによる港湾や、建設工事における脱炭素化を実現	食料・農林水産業 ・2050年、農林水産業における化石燃料起源のCO ₂ ゼロエミッション化を実現	航空機 ・2030年以降、電池などのコア技術を、段階的に技術搭載	カーボンサイクル・マテリアル ・2050年、人工光合成プラを既製品並み(CR)・ゼロカーボンステールを実現(マテリアル)	住宅・建築物・次世代電力マネージメント ・2030年、新築住宅・建築物の平均でZEH・ZEB(住宅・建築物)	資源循環関連 ・2030年、バイオマスプラスチックを約200万吨導入	ライフスタイル関連 ・2050年、カーボンニュートラル、かつレジリエントで快適なくらし

経済産業省 「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」 - 抜粋 -



2025年大阪・関西万博がめざす「持続可能な開発目標（SDGs）達成への貢献」へ

関西ものづくり新撰2023の選定方法について

- 下記3つの審査項目に基づく応募書類の審査
- 必要に応じて追加調査を実施
- 有識者で構成される選定委員会を設置・審査

項目	内容
①新規性・独創性	<ul style="list-style-type: none">➤ 新たに開発された製品・技術等であり、従来製品・技術等に対して優位な点を有しているか。➤ 従来にはない革新的な技術、ノウハウ、仕組み等を活用したものであるか。➤ 優れた意匠を有しているか、又はそれを可能とする製造技術であるか。あるいは顧客満足度を高める工夫が施されているか。➤ 第4次産業革命（IoT・ビッグデータ・AI・ロボット関連等）の実現に資する製品・技術、あるいはそれらを用いたビジネスモデルであるか。
②市場性・成長性・戦略性	<ul style="list-style-type: none">➤ 当該製品・技術等によって新たに提供される価値が、ターゲットとする市場の事業課題や社会課題等の解決に資するものであるか。また、市場に受け入れられるための工夫がなされているか。➤ 売上を拡大するための戦略が妥当であるか。➤ 製品・技術を活用して、サービスやソリューションまで展開することを視野に入れた優れたビジネスモデルが提案できているか。➤ 厳しい内外環境の中にあって新たな活路を見出す企業として、他の企業のモデルとなるとともに、地域経済の牽引・下支えにつながっているか。
③信頼性	<ul style="list-style-type: none">➤ 適切な品質管理体制に基づく品質の確保がなされているか。➤ 法令等で定める安全性の基準を満たしているか。

関西ものづくり新撰2023選定後の取組について

◆第10回選定企業への支援内容（予定）



- ◆選定された製品・技術等を紹介した冊子への掲載・発行
- ◆当局HP、J-GoodTech(ジェグテック)への製品・技術等の掲載
- ◆大阪企業家ミュージアム、MOBIO（ものづくりビジネスセンター大阪）等での製品・技術等の展示
- ◆開発担当者の選定製品・技術の開発までのストーリーや製品・技術等の魅力を当局HP「新撰エモーショナル」にて掲載
- ◆当局と支援機関による販路開拓や経営課題解決等に向けた個別支援の実施



MOBIOでの展示の様子

◆選定製品・技術の開発企業の声

地域の展示会に出展することで、エンドユーザー等の直接の生の声を聞くことができました！

HPを通じての問い合わせが増えた！

選定前と比べ、当該製品の売上額が増加した！



新規顧客を開拓できた！

取引先・銀行等から興味を持たれた！

製造現場のモチベーションが向上した！



←
魅力飛び出す
ウェブマガジン
「新撰エモー
ショナル」

その他 留意事項について

- 応募は1事業者につき、1つの製品・技術・ビジネスモデルまでとします。
- 応募書類に記載された個人情報その他情報は、本審査以外の目的には使用いたしません。
- 選定業務を円滑に進めるため本事業の事務局運営を外部事業者に外注する予定としております。応募書類に記載された個人情報その他情報は、本審査に必要な範囲で、当該外部事業者へ情報管理の徹底、漏洩防止を義務づける契約を締結のうえで提供いたします。応募者情報の提供についてご了承ください。
- 応募書類の返却はいたしません。
- 選定後、応募書類の内容に虚偽がある等、選定製品・技術に問題があると事務局が判断した場合には選定を取り消し、選定証は返納していただくことがあります。
- 選定された商品・技術については、令和5年4月以降に予定しているフォローアップ調査に協力していただきます。

皆様からのご応募をお待ちしております

(お問い合わせ先)

近畿経済産業局 地域経済部 産業技術課

担当者：浦戸、米田、亀谷

電話：06-6966-6017

メール：kin-shinsen@meti.go.jp